

## 5. 水利用の現状

せたな町は、平成 17 年 9 月 1 日、大成町、瀬棚町、北檜山町の 3 町の合併により誕生。  
本章では、流域の状況をより詳しく説明するため、旧自治体区分で記述する。

### 5-1. 水利用の変遷

(後志利別川の利水状況)

後志利別川水系の利水現況は、水道用水、かんがい用水、その他雑用水に利用され、合計で約 33.4m<sup>3</sup>/s が取水されているが、発電を除くと、その大半は農業用水に使用されている。なお、水利用の新規需要に対処するため、洪水調節、流水の正常な機能の維持、農業用水の補給、水力発電を目的とした多目的ダム美利河ダムが、昭和 54 年度に建設着手し、平成 3 年 3 月より運用を開始し利用されている。

かんがい用水は、開拓農民による農業用水の利用に始まり、現在は、約 6,000ha に及ぶ農地のかんがいに利用され、水力発電としては、美利河発電所による最大出力約 4,000kW の電力供給が行われている。水道用水としては旧瀬棚町、旧北檜山町及び今金町への供給が行われている。また、消流雪・流雪溝用水等として旧瀬棚町、旧北檜山町及び今金町で利用されている。後志利別川水系の目的別水利用の割合についてみると、ほとんどがかんがい用水、発電用水に利用されている。

表 5-1 後志利別川水系水利用現況

水系名	許可機関	水道用水		発電用水		かんがい用水		その他雑用水		合計	
		件数	最大取水量 m <sup>3</sup> /s	件数	最大取水量 m <sup>3</sup> /s	件数	最大取水量 m <sup>3</sup> /s	件数	最大取水量 m <sup>3</sup> /s	件数	最大取水量 m <sup>3</sup> /s
後志利別川	国	1	0.0016	1	12.6000	60	16.7858	2	0.8800	64	30.2674
	道	1	0.0206	-	-	64	3.2436	1	0.0275	66	3.2917
	計	2	0.0222	1	12.6000	124	20.0294	3	0.9075	130	33.5591

(出典：一級水系水利権調査(平成 16 年 3 月 31 日現在))

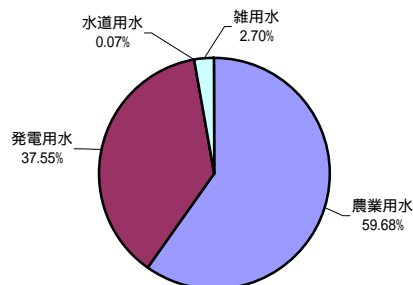


図 5-1 水利用割合図

(出典：一級水系水利権調査(平成 16 年 3 月 31 日現在))

(内水面漁業)

後志利別川における内水面漁業権は、昭和49年10月31日瀬棚郡内水面漁業協同組合の設立をもって、昭和50年7月1日に漁業権が認可された。漁業対象は、アユ、ヤツメウナギである。

○漁業権に関する概要

事務局 : 旧北檜山町役場

組合員 : 556名(平成7年3月現在)(農業、商業勤労者で専門者はいない)

漁業権番号 : 第5種共同漁業 檜内共第2号

漁場位置 : 旧瀬棚町、旧北檜山町および今金町

漁場の区域 : ・後志利別川めのう橋上流端の線から下流の後志利別川本流の区域

- ・旧国鉄瀬棚線第1ハカイマップ鉄橋上流端の線から下流の上ハカイマップ川本流の区域
- ・下ハカイマップ谷止工上流端の線から下流の下ハカイマップ本流の区域
- ・上八束頭首工上流端の線から下流のオチャラッペ川本流の区域
- ・金原中央頭首工上流端の線から下流のパンケオイチャヌンペ川本流の区域
- ・神丘頭首工上流端の線から下流の後志利別川本流の区域
- ・真駒内ダム下流端の線から下流の真駒内川本流の区域。

○アユ漁業

- ・漁具・漁法 : 釣(竿)。主に友釣。かぎ、投網、やな禁止。竿は1人1本(組合員、遊漁者)
- ・操業期間 : 7月1日~8月31日
- ・漁業権行使数 : 125人
- ・遊漁料 : 1日500円、年間5,000円(平成7年現在)
- ・遊漁者 : 函館、室蘭方面からの来訪者が多い。
- ・消費地 : 漁獲されたのは、ほとんど地元で消費。

○カワヤツメ漁業

- ・漁具・漁法 : どう(金網・網どう)・徒手。やす、かぎ、たも、やなは禁止。どうは、1人2個の使用が許可。
- ・操業期間 : 7月1日~12月31日
- ・漁業権行使数 : 48人
- ・遊漁料 : どう(1ヵ月3,000円) 徒手採捕(1日600円) 年間(5,000円 平成7年)
- ・消費地 : 漁獲されたものは、組合では取扱いなし。漁獲物は、札幌、余市方面へ出荷。一部が地元で消費。カワヤツメの消費拡大のため、加工製品化が検討中。



漁業種類	漁業の名称	漁業期間
第五種共同漁業	アユ漁業	1月1日から12月31日まで
	ヤツメウナギ漁業	1月1日から12月31日まで

図5-2 漁場の区域

(出典：瀬棚郡内水面漁業協同組合資料)

## 5-2. 湯水被害及び湯水調整

後志利別川水系において、過去に大きな湯水被害はない。また、過去に湯水調整は行っていない。